参考資料１

有田構想区域
区域対応方針

令和６年９月　策定

【１．構想区域のグランドデザイン】

人口減少、医療需要の変化等を踏まえ、役割分担及び連携の強化を図り、患者の病状に合った効率的で質の高い医療提供体制を構築する。

特に公立公的病院を中心とした役割分担のうえ、以下の医療提供体制を確立する。

・高齢化に伴い増加が予測される、慢性疾患・誤嚥性肺炎や骨折の治療を圏域内で行う。
・初期・二次救急対応を可能な限り圏域内で行う。
・圏域内での対応が困難な重症患者等は速やかに高度専門診療を行う医療機関へ紹介し、専門診療後のフォローアップ・在宅療養・リハビリテーションを圏域内で提供する。

【２．現状と課題】

①構想区域の現状及び課題（課題が生じている背景等を記載）

・２つの公立公的病院（有田市立病院・済生会有田病院）が基幹病院として急性期・回復期医療を担っている。
・圏内の総人口は全県人口の 7.6%で、いずれの年齢区分人口も減少すると推計されるが、65 歳未満の減少が著しいため高齢化率は高くなる見込みである。
・隣接する和歌山圏域等へのアクセスも比較的容易であることから、有田圏域の自己完結率は総じて低く患者流出が多く見られる。
・高度急性期医療に関しては、隣接する和歌山圏域に大勢を委ねている現状である。
・療養病床は、隣接する圏域から患者流入が見られる。

②構想区域の年度目標（令和 5 年 3 月 31 日付け厚生労働省医政局地域医療計画課長通知）

・合意した各医療機関対応方針の実施率：100%

③これまでの地域医療構想の取組について

民間も含めてすべての病院・有床診療所が委員として地域医療構想調整会議に出席し、以下の取組を実施。

・将来に向けての人口動態や医療需要を示して、機能転換等の必要性を共有。
・病床機能報告による現状把握。
・定量的な基準の導入による、より実態に即した現状把握。
・機能転換や病床削減を行う医療機関は、会議で内容を報告し合意形成。
・活用見込みのない非稼働病床の他施設への転換や廃止。
・平成 28 年 10 月に策定された『地域医療構想と公的病院のあり方』に基づく、主体的な病床機能転換等の取組。
・地域医療介護総合確保基金を活用した、地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設・設備整備、病床削減。

④地域医療構想の進捗状況の検証方法（地域医療構想調整会議の進め方やデータ分析方法等）

・地域医療構想調整会議を年２回程度開催し、関係機関と協議。
・病床機能報告や各病院・有床診療所へのアンケートを分析し、会議で検討。

⑤地域の医療機関、患者、住民等に対する周知方法（地域医療構想にかかる取組内容、進捗状況の検証結果等）

・地域医療構想調整会議を原則公開で開催。
・地域の医療機関：各郡市医師会を通して周知
・患者、住民等　：議事録を和歌山県ホームページに掲載

⑥各時点の機能別病床数

	2015 年 病床数	2023 年度 病床機能報告 （A）	2025 年の 予定病床数 （B）※	2025 年 病床数の必要量 （C）	差し引き (A)－(C)	差し引き (B)－(C)
高度急性期	0	0	0	0	0	0
急性期	350	194	194	146	48	48
回復期	85	233	233	148	85	85
慢性期	263	223	223	201	22	22

※病床機能報告における「2025 年 7 月 1 日時点における病床の整備の予定」として報告された病床数の合計又は各医療機関における対応方針の予定病床数の合計

【３．今後の対応方針】※２を踏まえた具体的な方針について記載

①構想区域における対応方針

・人口減少、医療需要の変化等を踏まえ、2 つの公立公的病院（有田市立病院・済生会有田病院）を中心とした医療機能の分化・連携を進めつつ、圏域内で提供し完結すべき医療を適切に提供できる体制を構築する。

②「①構想区域における対応方針」を達成するための取組

・有田市立病院と済生会有田病院の役割分担と連携の方法について、各病院と県で検討する。
・地域医療構想の実現に向けて各医療機関が果たすべき機能や役割、圏域における課題等についてのアンケート調査を実施し、圏域での機能分化・連携を促進するための議論を行う。
・各医療機関が策定した対応方針の再検証を行う。
・非稼働病床については、病床の廃止や他施設への転換を引き続き検討する。

③必要量との乖離に対する取組

・上記と同じ

④３．②及び③による取組の結果、想定される 2025 年の予定病床数

	2025 年の予定病床数 （2026 年 3 月時点）	（参考） 2026 年の予定病床数 （2027 年 3 月時点）
高度急性期	0	0
急性期	167	153
回復期	233	214
慢性期	223	223

【４．具体的な計画】※【３．今後の対応方針】を踏まえた具体的な工程等について記載

	取組内容	到達目標
2024 年度	アンケートを実施	課題の洗い出しを行い、各医療機関の課題を見える化し共有する。
2025 年度	アンケートで見える化された各医療機関の課題等をもとに、公立・公的病院を中心に、より深化した機能分化・連携強化の議論を実施	各医療機関の課題等をもとに議論し、機能分化・連携強化を促進する